

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程  
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～38
世 界 史	40～57	地 理	58～64
数 学	66～71		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - ・ 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
  - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
  - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

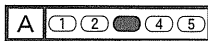
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

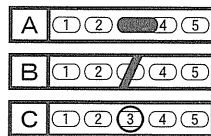
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (日 本 史)

〔I〕 次の図1～7と史料 i～ii を見て、下記の問いに答えよ。

〔図〕

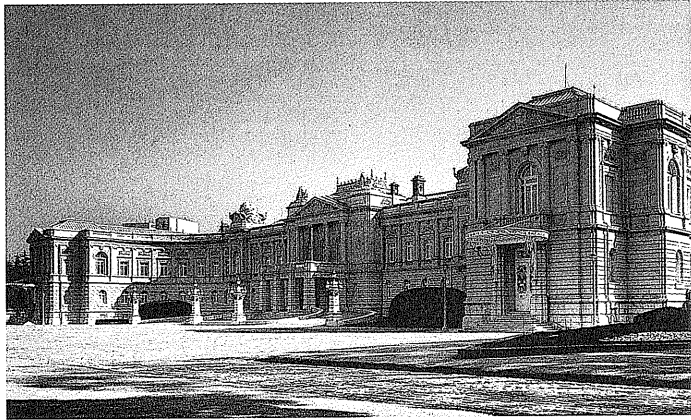


図1 迎賓館赤坂離宮



図2 薬師寺

A



图3 西本願寺 B



图4 慈照寺 C



図5 法隆寺 D



図6 東大寺 E

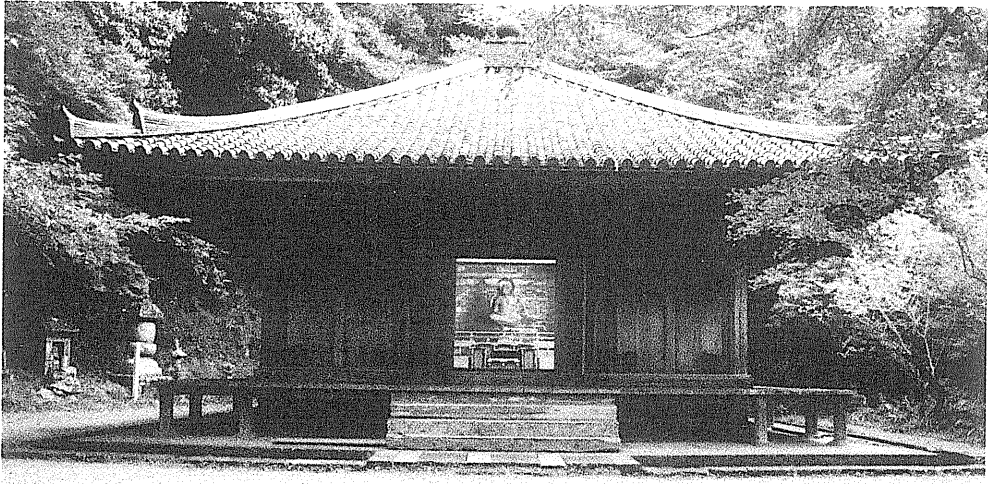


図7 富貴寺大堂

[史料]

- i 田児之浦従 打出而見者 真白衣 不尽能高嶺爾 雪波零家留  
(作者：山部赤人)
- ii 世中にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし  
(作者：在原業平)

問1 図の  ～  の建物の名称を以下のア～コからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 伝法堂    イ 南大門    ウ 離宮    エ 金堂    オ 唐門  
カ 本堂    キ 東塔    ク 銀閣    ケ 飛雲閣    コ 多宝塔

問2 図の  ～  の建物が建てられたとされる時期について、古いものから年代順に配列したとき、2番目、3番目、4番目にくる建物の記号を解答欄にマークせよ。

## 日本史

問3 次の(1)～(25)は、図1～7と史料i～iiに関連した正誤問題である。下の各文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、以下の解答群ア～エからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[解答群]

ア	X	正	Y	正	イ	X	正	Y	誤
ウ	X	誤	Y	正	エ	X	誤	Y	誤

- (1) X 図1が建てられた時代、鉄筋コンクリートを使用した建物がつくられ始めた。  
Y 図1を設計した人物は東京駅も設計した。
- (2) X 図1は、はじめ東宮御所として建設された。  
Y 図1が建てられた時代、コンドルは東京神田駿河台のニコライ堂を設計した。
- (3) X 図2が建つ寺は、平安京における密教の根本道場であった。  
Y 図2に見られる裳階は、円覚寺舍利殿にもある。
- (4) X 図2が建つ寺を建立した人物は、太上天皇となった後、弟である天皇と対立し、「二所朝廷」と呼ばれる政治的混乱を招いた。  
Y 図2は、六重塔である。
- (5) X 図2が建つ寺の金堂には、養老年間頃の作品説がある薬師三尊像が安置されている。  
Y 図2が建つ寺から、もと山田寺にあった蘇我倉山田石川麻呂の霊をとむらうためにつくられた薬師三尊の一部が発見された。
- (6) X 図3が建つ寺は、浄土宗の中心寺院である。  
Y 図3が建つ寺は、林下の禅の布教の中心寺院にもなった。

- (7) X 図3は寝殿で、その東西には透渡殿が設けられ、東には東対、西には西透廊がのびて釣殿へ続くという全体構造を持つ。  
Y 図3が建つ寺には鴻の間とも呼ばれる書院がある。
- (8) X 図4を建てた人物の書斎であった東求堂同仁斎は、違い棚や付書院、畳、襖があり、近代の和風住宅の原型となる構造を持つ。  
Y 図4を建てた人物は、段銭の徴収権や、京都の市政権などを朝廷から幕府の管轄下へおき、全国的な統一政権としての幕府を確立した。
- (9) X 図4を建てた人物は、足利持氏を討ち滅ぼすなど、將軍の権力強化をねらって専制的な政治をおこなったが、有力守護に殺害された。  
Y 図4が建てられた時期に侘茶は村田珠光により創出され、のちに武野紹鷗、千利休らによって完成された。
- (10) X 図4を建てた人物の弟義視と、子の義尚を推す妻のあいだに將軍家の家督争いがおこり、細川勝元と山名持豊の争いが激化して、乱が起こった。  
Y 図4が建てられた頃、京都の商工業者の中の日蓮宗信者は、一揆を結んで身内同士で争っていた畠山氏を退去させて町政を自治的に運営したが、延暦寺と衝突し、京都を追われた。
- (11) X 図5が建つ寺の夢殿に救世観音像が安置されている。  
Y 図5の内部にあった壁画は焼損した。
- (12) X 図5の須弥壇には鞍作鳥作と伝わる釈迦三尊像が安置されている。  
Y 図5は1950年に焼失し、1955年に再建された。

## 日本史

- (13) X 図6の建つ寺は焼打ちにあったが、重源が勧進上人となって資金を集め、宋人陳和卿の協力を得て、再建にあたった。  
Y 図6は大仏様の建築様式で、円覚寺舍利殿でもこの様式が用いられている。
- (14) X 図6の左右には、阿形と吽形の仁王像が立っている。  
Y 図6の建つ寺の三月堂には、本尊の不空罽索観音像と、その両脇には日光菩薩像と月光菩薩像が安置されている。
- (15) X 図6の建つ寺にある大仏殿前庭正面には八角灯籠がある。  
Y 図6の建つ寺にある大仏殿は江戸時代に再建されたが、火災に遭い、明治期に再び再建された。
- (16) X 図6が建てられた頃は、朝廷は国司を任命して全国の一般行政を統轄しようとし、幕府は守護・地頭を通じて全国の治安維持に加えて各地の支配の実権を握ろうとした。  
Y 図6が建てられる以前の動乱のさなかに、守護は権限が強化され、国衙機能を吸収し、動乱が終息する頃には任国も世襲されるようになった。
- (17) X 図7は大分県国東半島にある九州最古の阿弥陀堂である。  
Y 現存する阿弥陀堂には、図7の他に、京都宇治の平等院鳳凰堂、陸奥の中尊寺金色堂と同じく陸奥の白水阿弥陀堂がある。
- (18) X 図7のある県内には臼杵磨崖仏がある。  
Y 図7がある地域の人びとは、盂蘭盆会や彼岸会がさかんになるとこれらの行事を行う場として図7を建てた。
- (19) X 図7のような建物が建てられた背景にある信仰は、日蓮が説いた妙法蓮華経に救いを求める信仰であった。  
Y 図7が建てられたとされる頃、鳥羽上皇の命で蓮華王院が造営された。



- (20) X 図7のような建物が建てられた背景にある信仰では呪力の体得を励行しており、その修行場のひとつとして三仏寺投入堂が建てられた。  
Y 図7のような建物が建てられた背景にある信仰は、「極楽浄土のめでたさは ひとつも虚なることぞなき 吹く風立つ波鳥も皆 妙なる法をぞ唱ふなる」のうたの形でも表されている。
- (21) X 史料 i は、現存最古の漢詩集に収められている。  
Y 史料 i が収録された歌集が編まれた時代、貴族や官人には漢詩文の教養が必要とされた。
- (22) X 史料 i のうたは、斉明天皇のもとで大軍が朝鮮半島に派遣された時期のもので、i が収録されている歌集の初期のものである。  
Y 史料 i のうたが収録されている歌集が編まれた頃、図6の建つ寺などは広大な原野を独占し、付近の農民や浮浪人らを使用して灌漑施設をつくり、大規模な開墾をおこなった。
- (23) X 史料 ii のうたが収められている歌集は、八代集の最初のもので、延喜年間に紀貫之らによって編まれた。  
Y 史料 ii のうたをよんだ人物は、六歌仙のひとりである。
- (24) X 史料 ii のうたをよんだ人物は『栄華物語』の主人公とされる。  
Y 醍醐天皇は史料 ii のうたをよんだ人物を重用して、摂政・関白を任命せずに親政をしいた。
- (25) X 史料 ii のうたが収められている歌集が編まれた頃、不輸・不入の権を持つ荘園が一般化し、また有力貴族や大寺院への荘園の寄進も増加した。  
Y 史料 ii のうたが収められている歌集が編まれた頃、戸籍・計帳の制度は崩れ、班田収授の実施は困難になってきていた。

## 日本史

〔Ⅱ〕 次の表は17世紀から19世紀半ばまでの農業生産高、総人口、耕地面積についての最近の推計結果である。それを見て以下の問いに答えよ。

表 農業生産高、総人口、耕地面積の推移

年次	農業生産高 (1000石)	総人口 (1000人)	耕地面積 (1000町 <sup>a</sup> )
1600	30,678	17,000	2,065
1721	48,808	31,290	2,927 <sup>b</sup>
1846	67,062	32,212	3,170 <sup>c</sup>

(注) a) 1町=0.992ヘクタール, b) 1720年の値, c) 1850年の値。

(出典) 農業生産高と総人口は、深尾京司・中村尚史・中林真幸(編)『岩波講座 日本経済の歴史2 近世』岩波書店、2017年、284-285ページ(引用元データの一部の単位表記の誤りは訂正済み)。耕地面積は、速水融・宮本又郎(編)『日本経済史1 経済社会の成立』岩波書店、1988年、44ページ。

問1 1600年の農業生産高、耕地面積の推計値は豊臣秀吉が着手した検地(太閤検地)の結果にもとづいている。太閤検地について誤っているものを以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 検地の対象となった土地には、耕地(田・畑)だけでなく、生産活動に直接関係しない家屋敷も含まれた。

イ 農民の抵抗を抑えるために、検地の実施に先立ち刀狩令を出した。

ウ 作業には全国共通の枡が用いられた。

エ 検地帳に登録された農民が年貢負担の義務を負わされた。

オ 検地と並行して村の境界が確定された。

問2 1600年の人口推計には宗門改帳が利用された。宗門改帳が作られた目的の一つはキリスト教信仰を禁ずることであった。江戸幕府初期の宗教政策について誤っているものを以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 神社の神職を統制するために諸社禰宜神主法度を制定した。
- イ キリスト教以外にも一部の仏教宗派を弾圧した。
- ウ キリスト教の宣教師・信者を処刑した「26聖人殉教」と呼ばれる事件が起きた。
- エ 修験道や陰陽道を容認した。
- オ 皇族および宮家、公家が出家して寺院に居住することを禁止した。

問3 1721年の人口推計は、幕府によってはじめて全国的に実施された人口調査にもとづく。この時の将軍を以下のA群のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。またその将軍によって登用された人物を以下のB群のア～クから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[A群]

- ア 徳川綱吉                      イ 徳川家宣                      ウ 徳川家継
- エ 徳川吉宗                      オ 徳川家重

[B群]

- ア 青木昆陽              イ 新井白石              ウ 荻原重秀              エ 田中丘隅
- オ 中江藤樹              カ 間部詮房              キ 山鹿素行              ク 柳沢吉保

問4 労働生産性を人口1人当たり生産高と定義する。表中のデータを使って計算した労働生産性の変化について正しいものを以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1600年から1846年まで一貫して上昇した。
- イ 1600年から1846年まで一貫して下落した。
- ウ 1600年から1721年までは上昇し、1721年から1846年までは下落した。
- エ 1600年から1721年までは下落し、1721年から1846年までは上昇した。

## 日本史

問5 土地生産性を単位耕地面積当たり生産高と定義する。表中のデータを使って計算した土地生産性の変化について正しいものを以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1600年から1846年まで一貫して上昇した。
- イ 1600年から1846年まで一貫して下落した。
- ウ 1600年から1721年までは上昇し、1721年から1846年までは下落した。
- エ 1600年から1721年までは下落し、1721年から1846年までは上昇した。

問6 江戸時代では、神社参詣にともなう農民同士の地域間交流がきっかけとなって米の品種改良が進んだ。次の(1)～(5)は、わが国の代表的な神社についての説明である。その説明としてもっとも適切なものを以下の語群ア～コからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- (1) 12世紀の武家の棟梁が一門の繁栄を願った写経が奉納されていて、ユネスコの世界遺産に登録されている。
- (2) その神託によって天皇が寵愛していた僧に皇位を譲ろうとした事件が起きた。
- (3) 千年以上の歴史をもつ貴族の氏社としてあがめられ、ユネスコの世界遺産に登録されている。
- (4) 中央政界から左遷され、任地で亡くなった人物の怨霊を鎮魂するために造られた。
- (5) その神社の神官を務めていた人物が、神仏習合の考えに影響されて独自の神道理論を打ち立てた。

[語群]

- |        |         |         |         |
|--------|---------|---------|---------|
| ア 伊勢神宮 | イ 厳島神社  | ウ 出雲大社  | エ 宇佐神宮  |
| オ 春日大社 | カ 北野天満宮 | キ 鶴岡八幡宮 | ク 日光東照宮 |
| ケ 明治神宮 | コ 靖国神社  |         |         |

問7 1721年の水田と畑の面積は全耕地面積のそれぞれ55%と45%を占めていた。

水田の土地生産性は畑の土地生産性の2倍、生産された米の80%は米飯用に供せられる、という2つの仮定をおく。表中の1721年の農業生産高から米生産高を計算し、さらにそれを使って1人1日当たり米の消費量を計算するとどのくらいの水準になるか(小数点以下第2位を四捨五入)、もっとも近いものを以下のア～カから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお1石=1000合、1年=365日とする。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 0.5合 | イ 1合   | ウ 1.5合 |
| エ 2合   | オ 2.5合 | カ 3合   |

問8 江戸時代の農業生産高は長期的には増加したが、しばしば自然災害などによる被害をこうむり、その結果激しい飢饉が発生した。以下の(A)～(D)は江戸時代に発生した代表的な飢饉である。それを古いものから順に並べたとき、その順序を表す数字を解答欄にマークせよ。

- (A) 寛永の飢饉
- (B) 享保の飢饉
- (C) 天保の飢饉
- (D) 天明の飢饉

問9 江戸時代の農民について正しいものを以下のア～オから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 幕府は人掃令を出して士農工商の身分を確定した。
- イ 村方三役は本百姓から選ばれた。
- ウ 水呑とは、本百姓に隷属していた農民を意味した。
- エ 女性が家督を相続することは可能であった。
- オ 江戸中期以降、徳政を要求する一揆が各地で頻発した。

日本史

問10 次の文章を読み、 ～  にあてはまるもっとも適切な語句を以下のア～クからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

幕府や各藩の主たる収入源は年貢であった。年貢の徴収方法としては、当初はその年の収穫高に応じて毎年の年貢率(石高に対する年貢の割合)を決める  法が採られたが、やがて一定期間年貢率を固定する  法に代わっていった。その結果、幕府領内における農民の年貢負担率(生産高に対する年貢の比率)の水準は、時代が経過するにともなって  していった。

- |        |        |      |      |
|--------|--------|------|------|
| ア 四公六民 | イ 五公五民 | ウ 検見 | エ 検田 |
| オ 定免   | カ 村請   | キ 上昇 | ク 低下 |

問11 農民には年貢以外にも様々な負担が課された。江戸時代の農民に課された各種負担について誤っているものを以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |       |       |       |        |
|------|-------|-------|-------|--------|
| ア 国役 | イ 小物成 | ウ 助郷役 | エ 伝馬役 | オ 臨時雑役 |
|------|-------|-------|-------|--------|

問12 17世紀後半になると非農業分野の発展も見られた。次の(1)～(5)の特産物の産地としてもっとも適切なものを以下の語群ア～コからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- (1) 絹織物
- (2) 陶磁器
- (3) 漆器
- (4) 醤油
- (5) 酒

[語群]

- |      |      |      |       |      |
|------|------|------|-------|------|
| ア 生野 | イ 桐生 | ウ 九谷 | エ 久留米 | オ 諏訪 |
| カ 関  | キ 龍野 | ク 富山 | ケ 伏見  | コ 輪島 |

問13 江戸時代末の経済構造は開港とともに大きく変貌した。開港直後(1860年代前半)の貿易の状況について正しいものを以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 取引額が最大の貿易港は兵庫(神戸)であった。
- イ 取引額が最大の貿易相手国はアメリカであった。
- ウ 取引額が最大の輸出品は絹織物であった。
- エ 貿易収支は黒字であった。
- オ 安価な輸入品の影響で国内の物価が下落した。

## 日本史

〔Ⅲ〕 明治期における政治経済制度の形成に関わる[A]～[C]の設問に答えよ。

[A]

- 【1】 徳川内府従前御委任ノ大政返上，將軍職辞退ノ兩条，今般断然聞シ食サレ候。抑癸丑以来未曾有ノ国難，先帝頻年宸襟ヲ惱サレ候御次第，衆庶ノ知ル所ニ候。……自今撰閣幕府等廢絶，即今，先ス仮ニ，總裁・A・参与ノ三職ヲ置カレ，万機行ハセラルヘシ。
- 【2】 一 天下ノ権力総テコレヲ太政官ニ歸ス，則チ政令ニ途ニ出ルノ患無カラシム，太政官ノ権力ヲ分ツテ，立法・行政・司法ノ三権トス。則偏重ノ患無ラシムルナリ
- 【3】 ……抑臣等居ル所ハ即チ天子ノ土，臣等牧スル所ハ即チ天子ノ民ナリ，安ソ私ニ有スヘケンヤ。……願クハ朝廷其宜ニ処シ，其与フ可キハ之ヲ与ヘ，其奪フ可キハコレヲ奪ヒ，凡列藩ノ封土更ニ宜シク詔命ヲ下シ，コレヲ改メ定ムヘシ。

問1 史料【1】～【3】の名称を以下のア～キからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- |            |           |
|------------|-----------|
| ア 廢藩置県の詔   | イ 政体書     |
| ウ 王政復古の头号令 | エ 大政奉還の上表 |
| オ 五箇条の誓文   | カ 五榜の揭示   |
| キ 版籍奉還の上表  |           |

問2 下線部(a)の人物を以下のア～キから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| ア 家定 | イ 斉昭 | ウ 慶喜 | エ 家茂 |
| オ 家慶 | カ 家斉 | キ 家治 |      |



問3 下線部(b)にある「癸丑」(1853年)の「国難」を以下のア～キから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |               |           |
|---------------|-----------|
| ア フェートン号事件    | イ ビッドル来航  |
| ウ プチャーチン来航    | エ ハリス来航   |
| オ ペリー浦賀沖来航    | カ ラクスマン来航 |
| キ オランダ国王の開国勧告 |           |

問4 下線部(c)の「先帝」を以下のア～キから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| ア 光格天皇 | イ 桃園天皇 | ウ 孝明天皇 | エ 後桃園天皇 |
| オ 東山天皇 | カ 後西天皇 | キ 仁孝天皇 |         |

問5  ㊶ にあてはまるものを以下のア～キから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |       |      |       |       |
|-------|------|-------|-------|
| ア 議政官 | イ 大輔 | ウ 元老院 | エ 神祇官 |
| オ 参議  | カ 議定 | キ 太政官 |       |

問6 下線部(d)の「三権」はどの国の制度を模倣したものか。その国名を以下のア～キから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| ア フランス | イ イギリス | ウ ドイツ | エ アメリカ |
| オ イタリア | カ オランダ | キ ロシア |        |

## 日本史

問7 次の文章を読み、 ～  にあてはまるもっとも適切な語句を以下のア～トからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

史料【3】は  年に薩摩・長州・土佐・肥前の四藩主によって出願された。それを画策したのは長州藩の  と薩摩藩の  などであった。その後、多数の藩主が同様の上表を提出した。そのうえで、新政府は旧藩主に石高にかえて年貢収入の  分の1を家禄として支給し、旧領地の藩政に当たらせた。さらに  年、政府は薩摩・長州・土佐の三藩から軍事力を募って、政治的統一を強固なものにする政策を断行した。その結果、割拠的な国家制度が中央集権的に整備され、当初は1使・3府・302県の体制だったが、同年末に1使・3府・72県に、さらに  年には1使・3府・ 県になった。

- |        |         |         |        |
|--------|---------|---------|--------|
| ア 1868 | イ 1869  | ウ 1870  | エ 1871 |
| オ 1888 | カ 1889  | キ 1890  | ク 10   |
| ケ 11   | コ 12    | サ 42    | シ 43   |
| ス 44   | セ 勝海舟   | ソ 大久保利通 | タ 高杉晋作 |
| チ 伊藤博文 | ツ 大村益次郎 | テ 三条実美  | ト 木戸孝允 |

[B]

表 明治初期の財政収支

1867年12月～1875年6月

歳入			歳出		
	(100万円)	(%)		(100万円)	(%)
(1)	232.7	57.3	各官省経費	28.6	8.0
海関税	8.4	2.1	陸海軍費	47.8	13.3
各種税	17.2	4.2	各地方諸費	38.7	10.8
官工収入	6.7	1.7	在外公館費	1.3	0.4
通常貸金返納	2.5	0.6	国債元利償還	8.7	2.4
官有物所属収入	6.3	1.6	(3)	95.2	26.5
通常雑入	8.7	2.1	営繕堤防費	12.1	3.3
通常歳入合計	282.8	69.6	恩賞賑恤救貸費	5.0	1.4
(2)	73.3	18.1	通常雑出	5.0	1.4
借入金	21.2	5.2	通常歳出合計	242.8	67.5
臨時貸金返納	16.5	4.1	(4)	12.9	3.6
旧幕および旧藩所有金	9.0	2.2	旧幕・旧藩に属する諸費	14.9	4.2
其外公納			官工諸費	28.3	7.9
臨時収入	3.2	0.8	御東幸官吏洋行勸業其	7.8	2.2
例外歳入合計	123.4	30.4	他諸費		
			臨時貸金	31.3	8.7
			借入金および還禄賜金	18.0	5.0
			臨時雑出	3.1	0.9
			例外歳出合計	116.6	32.5
歳入総計	406.3	100.0	歳出総計	359.4	100.0
			残	46.9	

(出典)安藤良雄(編)『近代日本経済史要覧』東京大学出版会、1976年、44ページより作成。

万円位以下切捨のため不突合がある。

## 日本史

問8 次の文章を読み、 ～  にあてはまるもっとも適切な語句を以下のア～ソからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。  
なお、 ～  は表のものと同じである。

明治政府の財政は、国家の統一を武力をもちいて達成するために必要とされた  などの財源を  や豪商からの借入金といった例外的歳入によって賄うという、不健全な状況に陥っていた。また政府にとって、旧来の割拠体制を支えていた武士層を中央集権国家に組織するために必要とされた  も大きな負担となっていた。この負担を軽減するために、政府は、1873年に  を定め、公債や現金と引き替えに自発的な家禄などの奉還を行わせ、また1876年には  を制定することで、人件費負担の軽減を断行した。

他方政府は、旧来の歳入を減少させることなく財源を確保するために、「未タ物品等ノ諸税目興ラサルニヨリ」という状況のもと、「<sup>(e)</sup> 仮令豊熟ノ年ト雖モ増税申シ付ケサルハ勿論、違作ノ年柄之有リ候トモ減租ノ儀一切相成ラス候事」という方針で、 を徴収した。

- |              |            |
|--------------|------------|
| ア 地税         | イ 酒造税      |
| ウ 煙草税        | エ 地方税      |
| オ 醤油税        | カ 征討諸費     |
| キ 秩禄奉還の法     | ク 諸禄および扶助金 |
| ケ 秩禄公債証書発行条例 | コ 菓子税      |
| サ 金禄公債証書発行条例 | シ 砂糖消費税    |
| ス 紙幣発行       | セ 廢刀令      |
| ソ 士族授産       |            |

問9 下線部(e)で引用された文の出典を以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |              |          |
|--------------|----------|
| ア 田畑勝手作り許可   | イ 地租改正条例 |
| ウ 田畑永代売買の禁止令 | エ 上知令    |
| オ 田畑勝手作りの禁   |          |

[C]

(1) は1876年の条例改正によって (2) 義務から解放され、また政府はその翌年の (3) 戦争の戦費などを調達するために (4) 紙幣を増発した。それに伴って激しい (5) が起こり、貿易取引などに用いられる (6) 貨に対する紙幣価値が下落した。また (7) が実質的に減少することで財政がさらに悪化した。他方貿易収支では、(8) 超過が明治初期より続いていたこともあり、正貨保有高が底を突いていた。1870年代になると世界各国が金本位制へ移行しはじめたが、その過程で (6) の価格が下落し、日本の貿易に大きな影響を及ぼすことになった。1890年代に入ると急激な (6) 貨の下落に伴って為替相場では円が (9) した。それは、一方では (10) を促進し (8) を抑制するというプラス効果をもったが、他方では金本位制を採っている他国からの (8) 財の価格が (11) し、為替相場に変動をもたらした貿易にとってのマイナス要因ともなった。政府は、そうした状況のもとで、金本位制の採用を決断した。

(f)

問10 (1) ～ (11) にあてはまるもっとも適切な語句を以下のア～テからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| ア 銀    | イ 金    | ウ 下落   | エ 上昇   |
| オ 輸出   | カ 輸入   | キ 日本銀行 | ク 普通銀行 |
| ケ 特殊銀行 | コ 国立銀行 | サ 不換   | シ 兌換   |
| ス インフレ | セ デフレ  | ソ 西南   | タ 薩英   |
| チ 戊辰   | ツ 歳入   | テ 歳出   |        |

## 日本史

問11 下線部(f)を主導した人物の名前とその根拠となった法律を以下のア～ケからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 松方正義

イ 大隈重信

ウ 樺山資紀

エ 西園寺公望

オ 山県有朋

カ 貨幣法

キ 新貨条例

ク 国立銀行条例

ケ 日本銀行法